



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

6 / 2013
(通算 637 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス <http://www.kyohogi.jp/>
〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ
振込郵便口座 0100-3-11019 ゆうちょ銀行 店名 一〇九 店番 109 当座 口座番号 0011019

全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い、研修会のご案内

公益社団法人 京都府放射線技師会

日時：平成 25 年 6 月 22 日 (土)

場所：ホテルセントノーム京都

京都市南区東九条東山王町 19-1 Tel 075-682-8788

15:00～ 全地区委員会

地区委員の皆さんを対象に 25 年度全地区委員会を開催いたします。事前に行いましたアンケートの回答を基に意見交換を行いたいと思います。

*出欠の可否については 6 月 10 日(月)までに担当地区理事までにご連絡をお願いします。

*会員の皆様へ

全地区委員会は毎年 1 回、各地区委員の皆様が一同に集まって事業報告や活動に関する意見交換などを行っています。今年度は技師会活動をより知っていただくために会員の皆様にも参加していただきたいと思います。会議ですので会員の皆様は聴講のみとさせていただきます。是非ご参加ください。

17:00～ 第 550 回研修会

会員：無料 (非会員 500 円。フレッシュ診療放射線技師の集い参加者と学生は無料。)

今回は管理士会・学生との共同発表と、デジタルマンモ画像について講演をお願いしています。申込みは不要ですので、多数の御参加、お待ちしております。

学生発表：「高精度 X 線装置を使用した電離箱式サーベイメータの校正」

京都医療科学大学学生 楠 聡介、大北 哲也、朝野 聡明

教育講演：「富士フィルムデジタルマンモグラフィシステム AMULET について」

富士フィルムメディカル (株) 大島 裕二氏 (予定)

19:00～ フレッシュ診療放射線技師の集い

会員：6,000 円 (卒後 2 年目までのフレッシュ技師は無料、卒後 3 年～5 年目までは 3,000 円)

卒業後 2 年までの未入会者を対象に、例年フレッシュ診療放射線技師の集いを行なっています。これは京都府放射線技師会会員と若手技師との交流の機会を持ち、楽しく技師会を理解していただく懇親の会です。堅苦しく考えずにお酒の席にて歓談しましょう。

会員の皆様に合わせてお願いいたします。貴施設で卒後 2 年目くらいの未入会会員がおられましたら、お誘いのうえ是非一緒にご参加ください。会員間の交流も兼ねています。

*6 月 10 日(月)までに出席の連絡を担当地区委員、地区理事又は技師会事務所までご連絡ください。

会場の地図は最終ページに掲載しています。

京都府放射線技師会平成 24 年度臨時総会報告

公益社団法人 京都府放射線技師会

会長 轟 英彦

3月16日(土)に島津製作所三条工場研修センターにて平成24年度臨時総会を行いました。開催前に1月22日に永眠された名誉会員の森 信一氏への黙祷が行われた。

1. 議長選任の件

国立病院機構宇多野病院の四丸 真俊君が立候補し、会場の全員から異議なく承認された。四丸議長が庶務担当の皿谷理事に会員の出席状況を確認したところ、総会員数474名のうち、出席者40名、委任状者269名の合計309名で正会員の過半数以上が出席しているため、総会の成立が承認された。

2. 平成 25 年度事業計画案及び収支予算案に関する件

平成25年度の事業計画が轟会長より説明がされ、平成25年度予算案が財務担当理事の武部 義行より説明がなされた。質疑にて久保 昌博氏より「事業計画と予算案は定款では総会議決はとる必要はないはず」との意見が出され、会長より「監督官庁の京都府からの指示で総会に提出している」と回答された。

その後議長は、平成25年度事業計画案及び収支予算案に関する件について出席者全員に諮ったところ、反対0票、賛成39票(委任状269票)、保留1票で正会員の過半数以上の賛成があり承認された。

3. その他

轟会長より「役員選任規程の改定を次回通常総会にて議決にかける予定であり委員会設置規定、書類保管等に関する規程、名誉会員選任規程及び講師料等支払規程の改定は理事会承認を得ており次回通常総会にて報告する」と報告があった。久保 昌博氏より「役員選任規程に会長選挙の規定があるが、定款で代表理事は理事の中より決めるとあるので矛盾しているのでは」との意見が出され、轟会長より「監督官庁の京都府より選挙にて会員の総意を得る方式にせよと指示されているので実際には選挙を行っているが、今後、現実と定款・規程の乖離を無くすようにしていく。」と回答された。中川 善夫氏より「定款の業務執行理事と、通称の常務理事の違いは何か」と意見が出され、轟会長より「きちんと統一するようにします」と回答された。久保 昌博氏より「前回の通常総会にて定款や規程が承認され、その変更箇所がホームページに掲載されていないので、確認して下さい」と意見が出された。

4. 議事録署名人選任に関する件

議長より議事録署名人の選出方法について諮ったところ、会場より議長に一任する旨発言があり、議長はこれに基づいて、吉田 久仁彦氏と浅野 昌良氏の2名を指名し、満場一致で異議なく承認された。その後、四丸議長の解任がなされた。

第 2 回通常総会報告

公益社団法人 京都府放射線技師会

会長 轟 英彦

5 月 11 日 (土) に、エーザイ株式会社京都支店にて公益社団法人京都府放射線技師会第 2 回通常総会が開催されましたので、御報告いたします。

1. 議長選任の件

生駒病院の安藤敏博氏が立候補し、会場全員が承認した。安藤議長が庶務担当の皿谷理事に会員の出席状況を確認したところ、総会員数 454 名のうち、出席者 33 名、委任状者 314 名の合計 347 名で正会員の過半数以上が出席しているため、総会の成立が承認された。その後、4 月 25 日に永眠された笹井 清司氏への黙祷が行われた。

2. 平成 24 年度事業及び決算に関する件

(1) 平成 24 年度事業経過報告

轟会長より配布資料に沿って、社団法人京都府放射線技師会の平成 24 年度事業の総括について説明がされた。続いて各委員会理事から平成 24 年度のそれぞれの事業について説明がされた。その後採決がなされ、反対 0 票、賛成 33 票 (委任状 314 票)、保留 0 票で承認された。

(2) 平成 24 年度会計決算報告

財務武部理事から配布資料に沿って説明がなされた。最後に、会員減少等による会費収入減少の中、会員のご協力の元に平成 24 年度の会務が遂行できた、と感謝が述べられた。その後採決がなされ、反対 0 票、賛成 32 票 (委任状 314 票)、保留 1 票で承認された。

(3) 平成 24 年度監査報告

田城 邦幸、四井 猛士両監事より平成 24 年度京都府放射線技師会監査が口頭にて報告された。最後に、この総会の資料配布不備について執行部に対して注意がなされた。

久保 昌博氏より「京都府の『公益法人の設立、監督等に関する規則』はすでに廃止されている法律であり、これに基づいて監査報告を行っていることは誤りではないか」と意見が出され、田城監事が「今後検討いたします」と回答された。

3. 定款第 47 条の改訂について

轟会長より「公告の方法として定款第 47 条に『本会の公告は、官報に掲載する方法により行う』とあるが、この官報掲載費用として 5 万 9 千円ほどかかる。ホームページ上で行えば掲載費用は無料になるので、『本会の公告は、電子公告により行う。』と条文変更したい」と説明がされた。その後採決がなされ、反対 0 票 (委任状 2 票)、賛成 33 票 (委任状 300 票)、保留 0 票 (委任状 10 票) で正会員の 3 分の 2 以上の賛成があり、可決された。

4. 役員選任規定及びその他の規定について

轟会長より役員選任規定の新設及びその他の規程について、「内容は変わらないが単語や項番号の付け足し等の改定が理事会承認されている」と説明がされた。

その後採決がなされ、反対 1 票、賛成 32 票 (委任状 300 票)、保留 0 票で承認された。

5. その他

中川 善夫氏より「会費の収入減により日本診療放射線技師会より 200 万円を借り受けることになった件について詳しく説明して欲しい」と要望があった。轟会長より「年度初めの京都府放射線技師会雑誌を作製するための費用が非常に大きい。また 23 年度 24 年度の会費未納会員が多数ありその金額が 40 万円に達している。そのため予算を計上したときと差額が生じ借入金を一時的に行うこととした」と説明がされた。続いて武部理事より「借り受けた金額は準備金として計上していく方針で、収支報告上は借り受けされていないことにして、事業収入のみでの月例収支報告を行っていく」と説明がされた。さらに四井監事より「会費未納者をなくすように努力をし、各委員会の開催の方法などを工夫して経費を削減する方針である」と説明がされた。

6. 議事録署名人選任

会場より議長一任の意見が出され、安藤議長が四丸 真俊氏、熊井 由昌氏を指名し、満場一致により選任された。その後、安藤議長の解任がなされた。

通常総会にて承認された平成 24 年度一般会計 収支決算報告を示します。

平成 24 年度一般会計 収支決算報告書

平成 24 年 5 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

科目	予算額	期末決算額	増 減	備 考
I 業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産運用収入	300	0	300	
② 受取会費収入	4,650,000	3,910,000	740,000	
正会員会費収入	4,100,000	3,335,000	765,000	
賛助会員会費収入	550,000	575,000	△ 25,000	25,000 円×23 社
③ 事業収入				
広告料収入	790,000	760,000	30,000	
④ 受取補助金収入				
地方公共団体補助金収入	90,000	90,000	0	
⑤ 受取負担金収入				
日本診療放射線技師会負担金収入	50,000	100,000	△ 50,000	
⑥ 寄付金収入				
寄付金収入	10,000	0		
⑦ 雑収入				
受取利息	2,000	107	1,893	
雑収入	1,000	107	893	
雑収入	1,000	0	1,000	
⑧ 繰入金収入				
繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入合計 (A)	5,592,300	4,860,107	732,193	
2. 事業活動支出				
① 事業費	4,319,000	3,910,414	408,586	
印刷製本費	1,280,000	1,380,582	△ 100,582	
通信運搬費	386,000	279,804	106,196	
通信運搬費	19,500	7,402	12,098	
連絡費	327,000	257,152	69,848	
IT 関連費	31,000	10,000	21,000	
電話料	8,500	5,250	3,250	
賃借料				
会場費	450,000	418,854	31,146	
諸謝金				
講師費	250,000	185,022	64,978	
福利厚生費	395,000	361,234	33,766	
調査研究費	70,000	55,630	14,370	
図書費	5,000	1,554	3,446	
福利厚生費	280,000	263,050	16,950	
渉外費(慶弔)	40,000	41,000	△ 1,000	
会議費	142,500	114,370	28,130	
学術	20,000	25,500	△ 5,500	
編集	20,000	8,500	11,500	
広報渉外	7,500	1,000	6,500	
組織調査	15,000	15,780	△ 780	
管理士会	5,000	11,180	△ 6,180	
厚生	5,000	2,000	3,000	
情報	10,000	8,000	2,000	
特別	10,000	1,910	8,090	
地区(7 地区)	50,000	40,500	9,500	
旅費交通費	377,500	232,100	145,400	
学術	40,000	47,000	△ 7,000	
編集	25,000	17,000	8,000	
広報渉外	7,500	2,000	5,500	
組織調査	45,000	29,000	16,000	
管理士会	40,000	32,600	7,400	
厚生	15,000	4,000	11,000	
情報	40,000	16,500	23,500	
特別	40,000	3,000	37,000	
地区(7 地区)	125,000	81,000	44,000	
広報渉外	100,000	98,344	1,656	
くらしと健康展	70,000	69,660	340	
関連団体	30,000	28,684	1,316	
事業雑費	5,000	2,597	2,403	
給料手当	417,000	389,163	27,837	
給料通勤手当費	410,000	383,789	26,211	
法定福利費	7,000	5,374	1,626	
租税公課費				
諸税	37,000	37,000	0	
受信費				
電話料	41,000	16,439	24,561	

消耗品費		83,000	85,379	△ 2,379
	消耗品	68,000	69,104	△ 1,104
	印刷費	15,000	16,275	△ 1,275
光熱水料費		52,500	20,981	31,519
消耗什器備品費		15,000	7,340	7,660
リース費		42,500	39,060	3,440
支払負担金		18,000	17,645	355
委託費	事務所管理費 2 階	215,000	215,000	0
保険料	火災保険料	12,000	9,500	2,500
②管理費		1,956,700	1,633,855	322,845
給与手当	給料通勤手当費	528,000	401,742	126,258
	法定福利費	520,000	395,670	124,330
		8,000	6,072	1,928
会議費	理事会費	153,000	220,610	△ 67,610
	各委員会費	65,500	88,915	△ 23,415
	役員活動費	17,500	48,500	△ 31,000
	総会開催費	20,000	57,500	△ 37,500
	総会準備費	15,000	0	15,000
		35,000	25,695	9,305
旅費交通費	理事会旅費	683,000	487,075	195,925
	各委員会旅費	360,000	330,865	29,135
	役員活動旅費	195,000	97,000	98,000
		128,000	59,210	68,790
租税公課費	諸税	30,000	20,000	10,000
支払負担金		15,000	8,205	6,795
受信費	電話料	69,500	71,156	△ 1,656
消耗品費	消耗品費	118,500	74,880	43,620
	通信費	69,000	30,733	38,267
		49,500	44,147	5,353
光熱水料費		72,000	85,707	△ 13,707
消耗什器備品費		15,000	0	15,000
リース費		50,000	46,872	3,128
委託費	事務所管理費 1 階	116,700	116,700	0
保険料	火災保険	11,000	8,150	2,850
渉外費		60,000	60,000	0
管理雑費		35,000	32,758	2,242
③特定預金積立金	特別事業	0	0	0
	備品購入	0	0	0
	事務所整備	0	0	0
	マンション改修	0	0	0
④記念事業積立預金	新公益法人設立記念事業	0	0	0
	創立 70 周年記念事業	0	0	0
事業活動支出合計 (B)		6,275,700	5,544,269	731,431
事業活動収支差額 (A) - (B)		△ 683,400	△ 684,162	762
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入		0	0	0
2. 投資活動支出	固定資産取得費	0	0	0
	事務所購入費	0	0	0
	什器備品購入費	0	0	0
投資活動支出合計 (C)		0	0	0
投資活動収支差額		0	0	0
III 財務活動収支の部	財務活動収入	0	0	0
	財務活動支出	0	0	0
	財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費 (D)		10,272	0	10,272
当期収支差額(A)-(B)-(C)-(D)		△ 693,672	△ 684,162	△ 9,510
前期繰越収支差額		1,289,808	1,289,808	0
次期繰越収支差額		596,136	605,646	△ 9,510

第 549 回研修会報告

学術委員会 原口 隆志

5 月 11 日に第 549 回研修会を開催しました。今回はフラットパネル (FPD) の最新情報としてコニカミノルタヘルスケアと富士フイルムメディカルの製品紹介を行っていただきました。

コニカミノルタヘルスケア株式会社 営業本部 MS 営業部 中村 一起
コニカは「AeroDR」として FPD を販売していますが、この AeroDR の特徴として、高画質・低被曝の実現、快適なワークフロー、軽量化と堅牢性の両立という点があります。蛍光体である CsI と TFT センサーの間にあった保護膜をなくし、X 線の検出率をアップしています。その代り CsI と TFT センサーをガラス基板ではさみ、強度を上げています。このため DQA は 1mR で 51% (従来型 CR では 22%) を実現しています。AeroDR はワイヤレスで動作しますので、バッテリーを内蔵しています。携帯電話等で使われているリチウムイオンバッテリーは電源容量が大きいのですが、発熱による熱暴走、継ぎ足し充電による寿命低下があり、AeroDR にはリチウムイオンキャパシタというバッテリーを採用しています。これは熱暴走の危険性や継ぎ足し充電による寿命低下がないので、AeroDR では内蔵型にし、交換はしなくてもよく、取り外しはできません。その代り電源容量が少ないので、省電力設計を高め、待機状態で 16 時間の持続を達成しています。電源内臓型なので、カーボン素材で筒形形状のモノコック筐体を採用し、堅牢性を上げました。コーナーにはマグネシウム合金のバンパーでふたをしており、このふたが落下時の衝撃を吸収してくれて、本体へのダメージを和らげてくれ、かつ、ふただけの交換ができます。耐荷重として 1 点荷重で 150kg、全面荷重で 300kg をクリアしました。AeroDR は半切サイズで 2.9kg と軽量で、さらに新発売のフルサイズのパネルも 3.6kg を実現しています。更に 4 ッ切りサイズも新発売しております。

1 枚の AeroDR で複数の撮影室をまたいでのご使用 (ローミング) もできるように設計されており、業務効率化にも寄与します。

回診車に搭載できるように開発されたのが AeroDR 回診 UF ユニットです。これは X 線管球と連動しなくても、FPD が X 線を自動検出し、画像化します。これにより現在使用している回診車にも搭載可能ですし、手術室でも導入がスムーズに行えます。この回診 UF と連携して画像を表示・保存する CS-7 Portable (タッチパネル型パソコン) は、無線通信ができ、病棟で RIS/PACS と連携し、撮影した画像を即座に画像サーバーへ転送することも可能です。手術室での残存物確認のとして新たに導入した強調処理を行うと、通常撮影より異物確認が容易に行えます。この回診ユニットがあれば、検診車に搭載しつつ、かつ、老健施設では院内に持ち込んで撮影するという運用も可能です。

また、訪問診察時や災害現場、さらには馬舎等でも活用が可能です。

富士フイルムメディカル株式会社 営業支援グループ MS 部 島内 真路
富士フイルムメディカルの FPD 製品ラインナップとして、直接変換方式採用の BENE0 シリーズ、間接変換方式の CALNEO シリーズがあります。本日は CALNEO シリーズをご紹介します。立位専用 FPD の CALNEO-U、臥位専用 FPD の CALNEO-MT、ワイヤレスカセット型の CALNEO-C がございます。すべてのシリーズは CR 製品と含めて一つのコンソールで制御が可能です。ワイヤレスカセット型の CALNEO-C は従来カセットと同サイズですので、既存の撮影台を活用できます。耐荷重として 1 点荷重で 100kg、全面荷重で 150kg の耐久性があります。バッテリーは交換可能で、3.5 時間の待機が可能です。フルサイズ (17×17inch) と A4 サイズの製品もございます。すべての製品で、バッテリーやバッテリーチャージャが共用可能です。

回診製品として CALNEO-flex があります。コニカさんと同様で、ワイヤレス PDF カセット、コンソール、表示パソコンの 3 点セットで、画像表示は曝射後 2 秒と高速です。連続撮影は 10 秒ほどで可能です。X 線自動検出タイプですので、既存の回診車や撮影装置に導入可能です。一般撮影室を含めて一つの制御端末に 5 枚の PFD が登録可能ですので、高価なパネルの共用ができ、運用コストの削減ができます。

FPD を操作するコンソールが Console Advance です。FPD と CR を同時制御が可能です、かつ、RIS としても活用できます。過去画像との整合性も確認できます。高精細モニタも導入すれば、検像も可能です。

富士の FPD の間接変換方式は ISS 方式を採用しており、これは蛍光体の前面に TFT 膜を配置しています。X 線により発光した光を後面で受ける (CSS 方式) より、光が拡散しにくい前面で受光し、尖鋭度・感受性を上げています。これによりボケにくい画像になります。受光素子である TFT 層を X 線が通過して蛍光体層にたどり着くのですが、TFT 層による X 線の減弱は数%しかなく、被ばく量への影響はほとんどありません。

線量計校正研究について管理士会からの報告

管理士会 山根 稔教

平成 24 年度の管理士会活動として、平成 24 年 4 月に線量計保有台数と管理状況の調査および放射線管理に関するアンケート調査を行いました。内容は京放技に所属しておられる施設の方を対象に 132 施設の放射線科技師長宛にアンケート調査書を送付して 75 施設の方から回答を得ました。この結果から線量計の校正という問題点が浮かび上がり、電離箱線量計に限りますが校正の概要、その必要性和実際の校正を京都医療科学大学の施設をお借りして西谷教授の講演でその理解を得る講習会を 9 月に開催しました。

その後、京都医療科学大学と共同実験として平成 24 年 12 月から京放技の医療施設関連で使用されている電離箱線量計を校正しその特性を調査する実験を、平成 25 年 4 月まで行ないました。線量計の校正実験には、35 施設の参加があり、合計 49 台の校正を行うことが出来ました。詳細の方は今後の研修会等で報告を行っていく予定です。ご協力を頂いた施設の方々ありがとうございました。

今後の活動は、通年行事として京都医療科学大学とタイアップした線量計校正研修を制度化していきたいと思っています。年に一度、大学の施設において電離箱式線量計の校正日を設けて実施します。また、校正証明書の発行もあります。各御施設の線量計の精度維持に役立てていただけたらと思います。今年度は、京都医療科学大学との日程調整で**9月7日(土)の午後から開催することになりました**。一年に一度の校正になりますので、今回の実験で持ち込んでいただいた線量計でも、もう一度校正を受けていただけたらと思います。詳細は来月号のニュース等でお知らせする予定です。皆様の参加をお待ちしています。

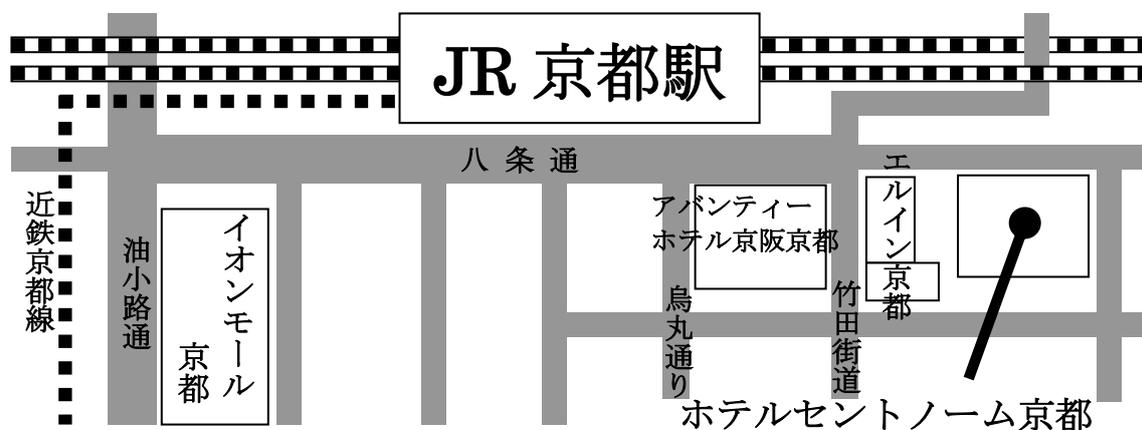


1 次校正にも使われているのと同機種の線量計校正用 X 線装置 TAITAN225S の前で説明する西谷教授

線量計校正研究の活動内容

- 8 月 線量計校正の講習会の案内
- 9 月 15 日 線量計校正の講習会開催 (8 施設で 9 台の線量計を校正)
- 11 月 線量計校正実験の各医療施設の協力依頼のお願い
- 12 月 線量計校正実験の参加施設の確認
- 12 月 7 日 京都医療科学大学にて線量計校正作業 (大学施設内で 3 台校正)
- 12 月 19 日 線量計校正実験の実行委員会開催と線量計校正作業 (3 施設で 4 台校正)
- 2 月 23 日 京都医療科学大学にて線量計校正作業 (7 施設で 11 台校正)
- 3 月 2 日 京都医療科学大学にて線量計校正作業 (6 施設で 8 台校正)
- 3 月 8 日 京都医療科学大学にて線量計校正作業 (2 施設で 2 台校正)
- 3 月 17 日 京都医療科学大学にて線量計校正作業 (7 施設で 9 台校正)
- 4 月 6 日 京都医療科学大学にて線量計校正作業 (3 施設で 3 台校正)
- 5 月 14 日 線量計校正実験の実行委員会開催

全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い、研修会の会場



日時：平成 25 年 6 月 22 日（土）15：00～受け付け開始

場所：ホテルセントノーム京都 平安の間

京都市南区東九条東山王町 19-1 Tel 075-682-8788

15：00～ 全地区委員会

17：00～ 第 550 回研修会

学生発表：「高精度 X 線装置を使用した電離箱式サーベイメータの校正」

教育講演：「富士フィルムデジタルマンモグラフィシステム AMULET について」

19：00～ フレッシュ診療放射線技師の集い

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 5 月の理事会は開催されていません。

▶ 6 月以降の京放技活動

6 月 9 日（日）	第 48 回京都病院学会	池坊短期大学
6 月 22 日（土）	全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い、第 550 回研修会	ホテルセントノーム京都
10 月 26 日（土）	公益法人取得、法人 50 周年記念式典	ルビノ京都堀川